

痛い病気・痛くない病気(2)

副院長・総合診療科 荻澤 融 司

病気には痛い病気と痛くない病気があります。皆様の健康管理の参考にしていただければと考え、総合診療科で診察する機会の多い「痛い病気・痛くない病気」をまとめてみました。



薬剤科からのお願い ～ 薬は他の人にあげないで！～

病院から自分に処方された薬を他の人に渡す、飲ます事は大変危ない行為です。医師に処方してもらった薬は、他の人にはあげない、これは鉄則です。



漢方医学の基本

漢方医学は、中国伝統医学をもとに日本で独自に発展したものだそうです。漢方では、健康のレベルは高い状態から低い状態まで連続的で、そのレベルが低下すると病気の状態になると考えます。



骨密度測定について

骨粗しょう症では、椎体(背骨)・前腕骨(手首から肘にかけての骨)・大腿骨近位部(太ももの付け根の骨)などの骨折が生じやすく、その対策が医療のみならず社会的にも重要な課題となっています。

健診項目《HbA1c ってなに?》

HbA1c とは、赤血球に存在するヘモグロビン(Hb)に、血液中のブドウ糖(血糖)が結合したものです。つまり血液中に血糖が増えるとHbA1c も多くなります。また逆に、血糖が減るとHbA1c も減ることになります。



ワクチンで感染症を予防しましょう!

ワクチンで予防出来る病気のことを VPD (Vaccine Preventable Diseases) と言い、インフルエンザや肺炎球菌による肺炎など、現在 20 種類以上あります。予防接種により、受けた人はその感染症から守られています(個人防衛)

在宅でのリハビリ ～ 歩行補助具について ～

今回は、歩行補助具の安全な利用方法についてお話ししていきます。これから暑くなる季節です。歩行補助具を安全に利用し、気を付けてお散歩にお出かけしてみてください。

